

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER REPORT [報告] 5

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2830 2007-2008



ガバナーエレクト  
山崎淳一  
(五所川原RC)

## 第1回 日台ロータリー親善会議

2008年5月12日(月)/パシフィックホテル東京

東京で開かれた第一回日台ロータリー親善会議に参加してきましたのでその概要を報告いたします。日台両国は歴史的にも地理的にも最も親しい間柄にあり、特に両国のロータリーは、これまで第4ゾーンを共有しており様々な交流が行われ友情を築いてきました。

情勢の変化によって将来ゾーン分けが違ってきますが、従来からの信頼関係を不変のものとして、両国の友好関係を一層深めるといふ思いで、今回第一回の日台ロータリー親善会議が開催されました。

日本からは489名、台湾からは158名、総勢647名の参加により東京で盛大に執り行われましたが、今後は二年に一度日台交互に開催されます。(次回は2010年台北で)当地区からは、黒田正宏RI理事エレクト、小林孝雄ガバナー、鐘ヶ江義光バスターガバナーと私の四名の参加です。

(会議)

今回の会議は第一回ということもあり、親善と交流を中心に進める主旨から、会議は祝辞と台湾と日本のロータリーのそれぞれの現況報告をするものでした。まず日台親善会議の名誉会長である小澤秀瑛RI第2580地区PGの祝辞から始まり、同会議総裁の前川昭一RI第2580地区PG、台日国際扶輪親善会理事長の林士珍氏他5名祝辞や報告と、今までの思い出を中心にお話がありました。

特に印象深いのは、台湾の皆さんの日本語でのスピ

ーチの見事さで、聞いていて本当に日本を好きでいてくれているんだという印象でした。

また、米山記念奨学会の奨学生として日本で勉強し、

台湾で活躍されている方が多く参加されていて改めて我々日本のロータリアンとして誇りとするべくプロジェクトであることを強く実感いたしました。

米山奨学生であった台湾のロータリアンの一人からは今回の会議を記念して300万円の米山奨学会への寄付があり、同席していた板橋敏雄理事長が感謝して受け取られました。

(懇親晩餐会)

私のテーブルには両国のロータリアンが半数ずつで、同席の中に台湾のRC会長をしている女性が日本の大学に留学経験があり通訳してくれましたが、やはり英語中心ですが楽しい一時でした。紹興酒での乾杯で台湾で大変な目にあった私の経験から、今日は台湾式はやめましょうねということで「随意」での交流となりました。

佐藤千壽PGもお元気な姿を見せられ、乾杯の発声とこの日を記念して披露された「スマイル」という歌の作詞者として素敵なお挨拶をなさっていました。

